

原子力被災12市町村農業者支援事業 実施状況に係る点検評価

1 平成29年度原子力被災12市町村農業者支援事業実績

(1) 事業の実施状況

本事業は、平成28年度の国の第2次補正予算(平成28年10月11日成立)に基づき措置されたものである。

平成29年度は、農業者、関係市町村、農業関係団体等に対する事業内容の周知等を経て、計3回(①平成29年2月13日～同年3月13日、②同年5月22日～同年6月23日、③同年10月10日～11月10日)事業の申請を受け付けた後、事業実施計画書の審査及び承認を行い、10市町村(川俣町、田村市、南相馬市、飯舘村、広野町、楡葉町、富岡町、浪江町、川内村、葛尾村)において事業が実施された。

(2) 事業実績

① 事業実施計画承認件数、事業費及び補助金

平成29年度の本事業の事業実施計画承認件数は266者となり、事業費は2,569,408千円(補助金1,871,694千円)となった。

なお、このうち、補助対象経費限度額が1千万円を超えるものは86者であり、その事業費は1,662,445千円(補助金1,207,536千円)となった。

② 事業内容別の実績

事業内容別の実績は、トラクターや田植機、コンバイン等の農業用機械が1,186台の1,932,571千円(補助金1,424,653千円)と最も多く、次いでパイプハウス(184棟)、畜舎(2棟)、農機具格納庫(10庫)、附帯施設等の施設が542,079千円(補助金400,068千円)、家畜の導入(93頭)が63,109千円(補助金24,116千円)となった。

【表1 事業項目別の事業実績】

福島県計	農業用機械等の導入	トラクター 104台、田植機 49台、 コンバイン 54台、乾燥機 35台、 色彩選別機 14台、ホイルローダー 8台、 管理機 40台、マニユアスプレッダー 17台、 その他機械 865台	1,932,571,119	1,424,653,000	266	事業実施計画者数 266者
	施設の整備等	パイプハウス 184棟、 パイプハウス附帯施設・防風ネット・井戸工事、 畜舎 2棟、飼料庫 2庫、堆肥舎 2棟、 農機具格納庫 10庫、その他施設	542,078,623	400,068,000		面積 1181.8ha シイタケ19,350菌床
	施設の撤去	パイプハウス 24棟	3,012,137	2,256,000		家畜
	果樹の新植・改植、花き等の種苗等の導入	果樹種苗 437,561本、ホップ棚 61.7a、 単管パイプ等資材、支柱・ネット	28,637,043	20,601,000		繁殖肉牛 406頭 乳牛 177頭 肥育肉牛 750頭
	家畜の導入	肉専用繁殖雌牛 39頭、搾乳用雌牛 54頭	63,108,687	24,116,000		豚 0頭 鶏 0羽
	合計 (うち、補助対象経費限度額が1千万円を超える事業実施計画)		2,569,407,609 (1,662,445,973)	1,871,694,000 (1,207,536,000)		266 (86)

注) 各事業項目の金額の計と合計の値は、四捨五入の関係で一致しない。

③主な作目別の事業内容

事業実施計画の主な事業内容を主な作目別にみると、水田が163件と最も多く、次いで野菜83件、果樹・花き61件、畜産38件、牧草37件、その他36件であった。

【表2 主な作目別の事業内容】

福島県計	水田	トラクター 66台、田植機 49台、コンバイン 50台、乾燥機 34台、色彩選別機 14台、ホイルローダー 1台、管理機 2台、マニュアルスプレッダー 8台、その他機械 489台、パイプハウス 43棟、農機具格納庫 7庫、施設撤去 12棟 (パイプハウス)	163	862.9ha	
	野菜	トラクター 31台、ホイルローダー 2台、管理機 25台、マニュアルスプレッダー 4台、その他機械 185台、パイプハウス 104棟、パイプハウス附帯施設、井戸工事、農機具格納庫 1庫、施設撤去 6棟 (パイプハウス)	83	64.4ha	
	果樹・花き	トラクター 22台、ホイルローダー 1台、管理機 13台、マニュアルスプレッダー 2台、その他機械 125台、パイプハウス 51棟、農機具格納庫 2庫、果樹種苗 47,061本、支柱・ネット、単管パイプ等資材	61	13.2ha	
	畜産	肉用繁殖	トラクター 1台、ホイルローダー 5台、その他機械 17台、パイプハウス 2棟、畜舎 2棟、飼料庫 2庫、堆肥舎 2棟、その他施設、施設撤去 1棟 (飼料庫)、肉専用繁殖雌牛 39頭	29	406頭
		酪農	その他機械 9台、搾乳用雌牛 54頭	7	177頭
		養豚		-	
		養鶏		-	
		肉牛肥育	ホイルローダー 1台、マニュアルスプレッダー 1台、その他機械 1台	2	750頭
	その他	牧草：トラクター 17台、ホイルローダー 2台、マニュアルスプレッダー 6台、その他機械 103台、農機具格納庫 1庫	37	202.6ha	
		そば：トラクター 7台、コンバイン 2台、乾燥機 1台、マニュアルスプレッダー 1台、その他機械 35台	16	30.7ha	
菌床しいたけ：トラクター 1台、その他機械 3台、パイプハウス 2棟		3	19,350菌床 0.2ha		
その他：トラクター 4台、コンバイン 2台、管理機 6台、マニュアルスプレッダー 1台、その他機械 44台、パイプハウス 2棟、農機具格納庫 1庫、ホップ棚 61.7a、こんにやく種芋 1,500kg		17	7.7ha		

注) 主な事業内容、採択件数の数値は、複数の作目で機械・施設が使用される場合は該当する各作目に各々計上されているため、その数値の合計は表1の合計値とは一致しない。

2 原子力被災12市町村の避難地域等における営農再開の状況

原子力被災12市町村の避難地域等における平成29年度の営農再開面積は4,344haとなり、平成23年12月時点の営農休止面積(17,298ha)に対する営農再開割合は25.1%となった。

また、営農再開面積と営農再開割合は、前年度に比べて、それぞれ361ha、2.1%増加した。

さらに、本事業の事業実施計画が承認された農業者の29年度までの営農再開面積(平成24～29年度)の合計は1,182haであった。

【表3 原子力被災12市町村の避難地域等における営農再開の状況】

単位：h a

市町村名	営農休止面積 (平成23年12月)	営農再開面積		
		平成28年度(A)	平成29年度(B)	対前年度増減 (B-A)
川俣町	375	6	13	7
田村市	893	523	524	1
南相馬市	7,289	2,881	3,161	280
広野町	269	202	202	0
楡葉町	585	30	48	18
富岡町	861	3	5	2
川内村	605	330	366	36
大熊町	936	0	0	0
双葉町	723	0	0	0
浪江町	2,034	3	6	3
葛尾村	398	6	11	5
飯館村	2,330	0	9	9
合計 (営農再開割合)	17,298 (-)	3,983 (23.0%)	4,344 (25.1%)	361 (2.5%)

資料：「福島県営農再開支援事業 平成29年度事業実績報告書」をもとに作成

3 事業実施状況に関する点検

- (1) 事業の実施に当たっては、市町村、関係団体、農業者向けの説明会の開催、農業者に対する事業パンフレットの郵送、事業申請期間中の相談会の開催、官民合同チーム営農再開グループ(公社)福島相双復興推進機構、東北農政局、福島県農業振興課及び農林事務所農業振興普及部・農業普及所が構成員)による農業者に対する個別訪問調査時における事業内容の紹介・助言を行うことにより、事業の周知と利用促進を図った。
- (2) 過剰で不効率な事業投資とならないように、事業申請書の内容審査や複数の見積りによる事業費チェックに取り組むことにより、事業の効率性、有効性が十分に確保されるように実施した。
- (3) 早期に事業着手できるように、複数の担当職員で分担して審査期間の圧縮を図った。

4 事業目標に対する評価

- (1) 事業目標(営農休止農地面積の6割の再開(平成32年度末))に係る平成29年度の進捗状況は、同年度の営農再開の目標値(A)5,960haに対して、実績値(B)4,344haであることから、達成度(B/A)は72.9%である。これは、本事業では複数年かけて営農再開・規模拡大・新規営農を行う計画もあり、平成32年度までにさらに854haでの営農再開が見込まれることから、事業目標に見合ったものである。
- (2) 平成29年3月に川俣町、浪江町、飯館村、4月に富岡町で避難指示が解除された区域のうち、営農再開を果たした土地はまだ少ないため、県が市町村及び関係機関と一層連携して、農業者への事業周知と利用促進の取組を積極的に推進することにより、事業目標の達成を図ることとする。